

令和2年度 第2回理事会 議事録

日 時 令和2年8月29日(土)14時00分～15時20分

場 所 北海道立総合体育センター 小研修室(1～3)

出席者 生島典明、黒田謙二、渋谷研一、大江憲一

印藤智一、家近昭彦、田中昌幸、沓沢幸一

丸山道博、浅野泰弘、多田吉宏、春間好実

藤原 正、田中 淳、佐藤敏夫、川埜保幸

鎌田勝広、西谷清之、高橋克徳、関原榮司

志手典之、宇野 要、川崎尚子(代理)

柴田一徳、奈良孝伸、松野清佳、永谷 稔

大西能正、畠山彩子、高坂 猛、須田正毅

1. 開 会

理事会開会に先立ち、書面決議の定時評議員会で監事に須田氏が新たに就任されたので、冒頭に就任の挨拶を頂く。

※総務委員長が、理事34名中29名の出席があり理事会は成立することを報告した。

2. 会長あいさつ

新型コロナウイルス感染が収まらない中にも関わらず29名が参加していただきお礼。コロナウイルスは生活に大きな影響があり、スポーツに関するとママ連は今年度すべての大会が中止となった。最終学年の生徒は最後の大会の機会が失われた。大会が無くなると目標が失われ、目標の大切さを身にしみて感じている。その中で我々競技団体がしっかりとし、どうリカバーしてあげることが求められているのではと考えている。

本日の理事会では、高校選手権大会や新人大会について競技団体が一丸となってアスリートの活躍の場を提供することが大事で、皆さんの大会を実施したいと言う思いを共有できますようご議論ご協力をよろしくお願ひする。

3. 議事録署名人に選出

※以降は、規約に基づき会長が議長を務める

議事録署名人に生島会長の外、留萌協会宇野理事、春間常任理事の2名を指名する。

4. 協議事項

(1) 高校選手権北海道予選会及び高校新人大会開催について（資料1）

・田中競技委員長より資料1の説明がある。

1) 大会運営上ガイドラインは感染予防の観点からいろいろな部分で制限をかけなければならないことをご理解頂き、会場の使用コート数、今回の選手権大会の日程は3日間、無観客試合、各試

合に設定時間を設ける、コートオフィシャルは当該チーム、その他として、大会申込み方法、リモートの代表者会議、開閉会式は行わない、感染対策グッズ関連の説明がある。

○函館佐藤理事 大会運営上のガイドラインは地区予選大会も含むのか

⇒地区委員長にはこのガイドラインを通知している。地域の実状を踏まえながらこのガイドラインに沿って運営をお願いしたい。

○生島会長 開閉会式等スポンサーへの対応はどうなっているか

⇒現在の新型コロナウイルスの状況で実施しないことを理解していただく。

2) 2020年度全日本バレーボール高等学校選手権大会について、ガイドラインの3日日程とすると参加チーム数は例年より少なくなる。8月25日現在の登録チーム数の説明がある。UHB社より大会最終日は1面で実施するよう要請があり例年通り6試合となる。全国大会が中止となつても代替大会としてこの大会は実施する。9月から地区予選会が始まるが、実施できなくなつた場合は地区の判断で推薦をお願いする。最終判断については10月17日に北海道協会で判断する。

・田中総務委員長よりスポーツ振興事業として、最後の大会の代替大会として2020高校選手権大会を申請し100万円の国庫補助金が支給される。北海道教育委員会で進めている知事賞とアンバサダー制度で表彰式・閉会式でファイターズの事業として田中賢介氏の表彰がある。

○高坂監事 中学校大会も対象となるのか、大会は検討しているか

⇒中学校の大会があれば補助金の対象となるが、中学校の全道大会は実施できない。

○苦小牧西谷理事 高校選手権大会の出場枠は記載の通り決定しているか

⇒現在提案中であり本理事会で承認された場合決定となる。

全国大会が中止になった場合もこの大会は実施するのか

⇒10月17日の常任理事会で最終判断する。但し11月以降北海道・札幌市が緊急事態宣言された場合は中止となる。

○千歳閔原理事 地区大会にコロナ対策の経費が新たに発生するが道協会の補助はあるのか

⇒渋谷理事長より一部でも助成できるかどうか早急に検討することとする。

3) 2020年度北海道高等学校バレーボール新人大会について大会は5会場6コートで実施する。最終判断としては、12月の常任理事会で判断する。

＜原案通り決定される＞

(2) 令和2年度会計執行状況及び補正予算について（資料2）

・総務委員長よりこの状況で各種大会や各種委員会の行事が縮小中止となっており、収入も登録料の減少、大会参加料の大幅な減少が見込まれ、今回収入及び支出とも297万円減額の補正予算を提出することとなった。

＜原案通り決定される＞

(3) 倫理委員会報告について（資料3）

・総務委員長より8月6日付けで倫理委員会の山本倫理委員長から生島会長に対して処分内容について対象者は処分にあたらないことの報告がある。

＜承認される＞

(4) 北海道バレーボール協会競技者及び役員倫理規程の改正について（資料4）

・総務委員長より、昨年度第3回理事会において宇野理事からの指摘があった、「ホームページ等への

公表期間の基準を検討し次回理事会に提案する」との案件について、掲載期間は現在の規程には無いため、追加で改正することの提案がある。

○生島会長 5条2項の文言について会長が修正する

<第5条の2項の原案を修正することで決定される>

(5) 北海道バレーボール協会文書管理規程の設置について（資料5）

- ・総務委員長より協会事務所内保管の文書が大量になっているため、管理規程を作成し適正に処分することの説明と提案がある。

<原案通り決定される>

(6) 北海道バレーボール協会 90周年事業について（資料6）

- ・総務委員長より事業規模を含めて100周年につなぐ内容の事業計画（案）、収支予算（案）、表彰基準（案）の計画の説明と提案がある。

<原案通り決定される>

(7) 旅費規程の運用について

- ・総務委員長より新型コロナウイルスの関係で、公共交通機関を長時間使用したくないと言う状況から、自家用車の使用に際し高速道路使用の際に費用の負担を認めることとしたい。8月29日の理事会に諮り当日からの摘要としたい。この件は今年度中の適用とし、旅費規程を改正せず、「理事長が特に認めた場合」の規定を適用し、機関会議を対象とし、自己申告された実費を支給する。ETC割引などを活用し経費節減を願うことの説明と提案がある。

<提案通り決定される>

5. 報告事項

(1) 令和2年度前期事業実施状況について

- ・渋谷理事長より今年度はすべての事業が実施されていないとの報告がある。道内開催の全国大会のヴィンテージ大会（函館）、Vリーグ女子ファイナル8（帯広）等も中止となった。
- ・春間強化委員長より2023年度開催の北海道インターハイに向け、JOC北海道版を開催し中学3年生の強化を今後3回実施する。

(2) 日本協会関連

- ・渋谷理事長より今年度の会議は中止もしくはリモートで実施している。東京オリンピックが1年延期となつたが、オリンピック期間中の全国大会、ブロック大会、都道府県大会を開催しないよう通知があつたが、来年度の日程はすでに決まっており今年度と同じような通知はないとJVAが決定した。
- ・黒田副会長（JVA北海道ブロック評議員）より2019年度の決算、2020年度の補正予算について説明があり、その中でMRSの収入が1億円減収となっている。払った組織払ったチームが不利益にならないよう2021年度工夫をしていただきたいと意見した。2020年度定時評議員会終結の時をもって任期が満了となり新たに菊地幸夫監事が専任、工藤陽子監事、廣紀江監事が重任となった。

(3) 各委員会関連

- ・競技委員会 全道大会競技日程において北海道総合6人制大会の廃止の報告、主管協会の年次別一覧において、今年度中止となった協会に令和4年度以降開催地が決定していない大会開催地とし

て打診していく。

- ・審判委員会 JVAより活動再開におけるガイドラインが発表され、それを基づいて北海道協会のガイドラインを作成し各加盟団体審判委員長に送信している。それを基にこれから始まる大会の運営を実施する。今後大学秋季リーグ、高校選手権大会が始まり、特に大学リーグを中心に審判の活動を再開する。その後のVリーグの研修も兼ねる。先月にアンケートを実施し各地区の状況を確認したところ、地区の審判講習会はほとんど実施されていない。今年度B級審査会に9名が受講を希望しているが、2部以降の大学リーグ日程が決まっていないため、決定次第各加盟団体に連絡する。
- ・実連 大西理事より今年度の大会はすべて中止となつたが、11月15日にクラブ連も含めて深川で9人制交流会実施に向け準備中である。
- ・クラブ連盟 10月下旬開催の道デサント杯は中止とし、同日同会場を利用して6人制交流会の実施を準備中である。今年度は1回ではあるが実連交流会を含めチームに試合の機会を作りたい。

(4) その他

- ・渋谷理事長よりVリーグ関連の開催予定について報告があり、V2リーグが10月下旬から開催する。
- ・田中総務委員長より協会参与伊藤孝氏（札幌地区協会）がご逝去されたことの報告がある。

6. その他

7. 閉会

【次回：令和2年12月12日（土）13:30～ 北海きたえーる研修室】

議事録署名人

会長

生島典明



議事録署名人

春間好実



議事録署名人

宇野要

